

Xotic EP PRO

ユーザーマニュアル

EP Proは、2008年にデビューした初代EP Boosterの次世代モデルです。

初代EP Boosterは、“always-on”による太く艶のあるサウンドが多くの支持を集めました。

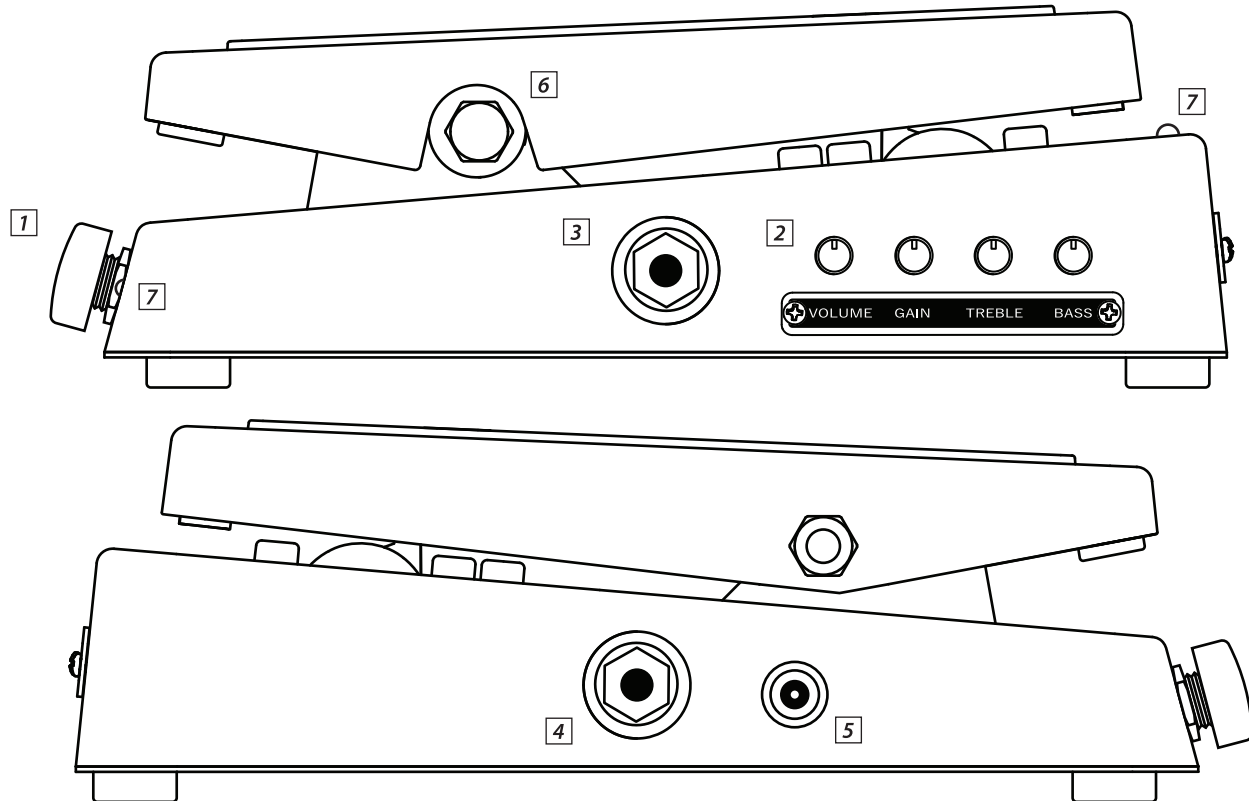
ジミー・ペイジやエディ・ヴァン・ヘイレンといった伝説的ギタリストに愛されたEchoplexプリアンプサウンドの系譜を受け継ぎ、ギターとアンプの間に繋ぐだけで、より甘く豊かなトーンを容易に得ることができるのです。

EP Proはそのコンセプトをさらに一歩進め、現代のプレイヤー向けに柔軟性と機能性を強化しました。もはや単なるブースターではなく、詳細なトーンシェイピングと多用途な音量管理を可能にする多機能プリアンプ兼ボリュームペダルです。デジタル化が進む制作の現場においても、EP Proはシグナルチェーンの最前線にアナログで有機的な質感を加え、自然な形でトーンを保護し豊かにします。つまり、EP Proはエフェクターボード上で常時オンにしておきたいトーンエンハンサーであり、どんなギグにも対応できる柔軟性を備えています。

主な特徴

- 2バンドEQ (トレブル/ベース)・ゲイン・ボリュームコントロールを装備し、サウンドを細かく調整可能。
- 内部ディップスイッチでトレブル、ミッド、ベースの周波数特性をカスタマイズ可能。
- アクティブバッファ回路内蔵により、ブーストがオフのときでも信号品質を維持し、アクティブなボリュームペダルとしてスムーズな音量調整を実現。
- パッシブボリュームペダルモードも選択可能で、シンプルな音量操作が可能。
- ナイロンピボット設計により、滑らかなペダル操作と調整可能なトルクを実現。
- 軽量かつ頑丈なアルミニウムシャーシで、かさばらず耐久性に優れています。

部品およびメカニカルガイド



1. BOOST ON/OFF SWITCH: ブーストのオン/オフの切り替えを行います。内部バッファ回路のオン/オフの設定により、このスイッチでブーストとトゥルーバイパスの切り替え、又はブーストとバッファードバイパス信号の切り替えが可能。
2. CONTROL KNOBS: ブーストシグナルの調整に使用します。
3. INPUT JACK: 標準入力レベル -20dB。バッテリー寿命を保つ為、使用しない時はプラグを抜いて下さい。
TSプラグのみ使用可能(※TRSプラグには対応していません)。入力インピーダンス: 500kΩ
4. OUTPUT JACK: TSプラグのみ使用可能(※TRSプラグには対応していません)。出力インピーダンス: 2kΩ
5. POWER SUPPLY JACK:
消費電力: 9VDC/10mA (max) アルカリ電池使用時、約40時間連続使用可能
電池: 9VDC (006P)×1
ACアダプター: 9-18VDC Negative Tips (Regulated Only)
6. TREADLE TORQUE NUT: ナットを締めることで、トレッドルのトルクを調整できます。締めるとペダルは固くなり、緩めると軽くスムーズに動くようになります。
7. STATUS LED: ブースト時点灯。LEDが点滅減する場合、バッテリー残量が少なくなっているので交換して下さい。
8. DIMENSIONS: W100mm x D222mm x H67mm, Weight: 904g(電池除く)

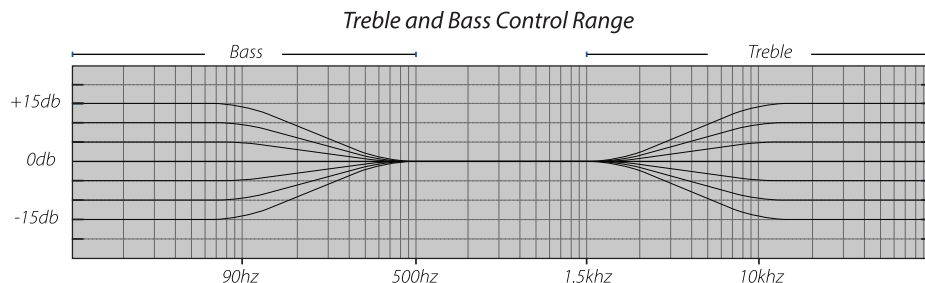
Continued on next page

ボリュームとゲインコントロール

ゲインノブはEP独自のFET回路により最大で+20 dBのゲインを提供します。ブースター機能でゲインを上げることで、よりきらめきと輝きのあるトーンを実現できます。
ボリュームノブはそのブーストされたレベルを適切な音量に戻すために使用します。
さらに、信号がボリュームペダルに到達する前にこの追加の制御段を設けることで、全体のセットアップ管理がさらに容易になります。

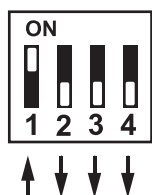
トレブルベースノブ周波数

EQはトレブルで+15 dB、ベースで±15 dBの調整幅があります。
EQノブを12時位置に設定すると、周波数特性はフラットになります。
この位置では高音域も低音域も中立な状態を維持します。
時計回りに回すと周波数をブースト、反時計回りに回すとカットします。



ディップスイッチ設定

DEFAULT SETTINGS



1. バランスの良いフルバンドブーストを提供します。
2. オリジナルEPと同じブーストおよび周波数帯域を提供します。
3. 高域をシェルフイングし、6 kHz付近を強調して+8 dBブーストします。
4. 高域をシェルフイングし、10 kHz付近を強調して+6 dBブーストします。

Note: すべての DIP スイッチをオフにすると、最も控えめなブースト量となり、ややミッド寄りのトーンになります。
DIP スイッチは任意の組み合わせでオン／オフ可能です。
各スイッチの説明は、個別の効果を示したものであり、複数のスイッチをオンにすると、それぞれの効果が合成されます。
ゲインノブを12時以降に設定すると、DIPスイッチ3および4の効果は目立ちにくくなります。

DIP Switch Settings

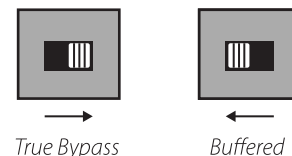
DIP Switch	Mode	Type	Start Frequency	Gain
High-Shelf (3 & 4)	DIP 4	High-Shelf	1.5 kHz	+6 dB
	DIP 3	High-Shelf	1 kHz	+8 dB
	DIP 3 + 4	High-Shelf	900 Hz	+10 dB
Full-Band (1 & 2)	DIP 1	Full Band	-	+6 dB
	DIP 2	Full Band	-	+7 dB
	DIP 1 + 2	Full Band	-	+7.5 dB

バッファートゥルーバイパス設定

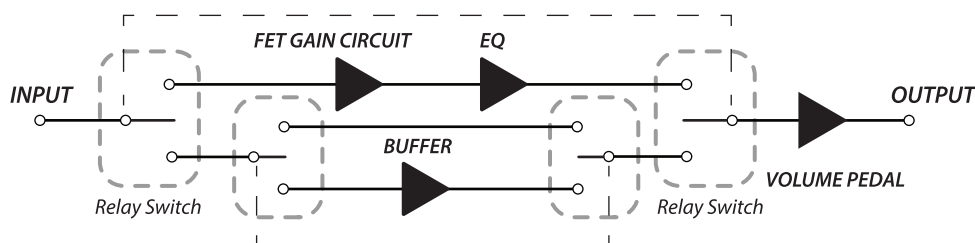
EP Pro には内部スライドスイッチがあり、ペダルをバイパスした際にトゥルーバイパスのままにするかバッファ処理するかを選択できます。

True Bypass: スイッチをトゥルーバイパスに設定すると、入力された信号はバッファリングなしとして通過し、250kΩのポットを経由して出力されます。
このモードでは、ペダルがバイパスされている間、バッジブボリュームペダルとして機能します。

Buffered: スイッチをバッファードに設定すると、入力された信号はバッファ回路を通過し、250kΩのポットを経由して出力されます。
この処理は、ペダルがバイパスされている状態でも行われます。



サーキットダイアグラム



プロサウンドコミュニケーションズ
E-mail: japan@pci-jpn.com
© 2014 Prosound Communications Inc. All rights reserved.